

令和 6 年 4 月 19 日

(※受付番号)

教 育 長

研究コース
A グループ研究 A
校 園 コード (代表者校 園 の市費コード)
511001

代表者	校 園 名 :	大阪市立野田小学校
	校 園 長 名 :	石 崎 厚 史
	電 話 :	6461 - 0520
	事 務 職 員 名 :	児 嶋 桜 子
申請者	校 園 名 :	大阪市立野田小学校
	職 名 ・ 名 前 :	主 務 教 諭 横 山 健 治 郎
	電 話 :	6461 - 0520

令和 6 年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	A グループ研究 A	研究年数	新規研究 (1 年目)
2	研究テーマ	ビジョントレーニングを活用した「見る力」の育成			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を項立てして記載してください。</p> <p>○さまざまな情報が益々あふれるこれからの社会では資料を正確に読み解いていく総合的な読解力はますます求められている。しかし、子どもの中にはものを見えてはいても、それが何なのか理解できない、また、それを表現することができない子どもが多い。さらに、特別支援学級の在籍の子どもの中には「見る力」が十分に育っておらず、通常学級の学習に困難さがみられる場合も多い。そこで本校では、昨年度よりビジョントレーニングの研究に取り組んできた。昨年度の研究発表では他校から 70 名以上の申し込みがあり、本研究に対する関心の高さを知ることができた。本年度も引き続き研究を進め、その成果について全市に発信を広げていきたい。</p> <p>今年度の本研究の目的は主に次の二つである。</p> <p>①小学校での効果的なビジョントレーニングを活用方法についての研究 (通常学級での活用方法、及び、特別支援学級、通級指導教室での子どもの活用方法)</p> <p>②「見る力」を活用したビジョントレーニング教材の開発と発信</p>			
4	研究内容	<p>(1)研究内容の詳細 ※継続研究 2 年目以降は 1 年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>ビジョントレーニングでは「見る力」を、①ものを見る力②脳で理解する力③口や動作でアウトプットする力の三つに分類する。本研究においてはそれら三つの力の育成を視点とし、研究を進めていきたい。</p> <p>①目で見る力の育成</p> <p>「目で見る力」とは視線を素早く動かし、対象を目で追ったりする力のことである。昨今は複数の資料から情報を選択することが求められることが多い。さらに情報過多の時代において、情報を精読する前に必要な資料が何かを判断することも多い。まずは情報の全体像を捉えたり、二つの情報の同じ部分や違う部分をみつけたりするなどの「ものを見る力」を育てる。</p> <p>② (見たものを) 脳で理解する力</p> <p>「脳で理解する力」とは、「見る」ことによって得た情報を処理し、理解する力である。これからの社会で大切なのは、情報を自ら思考・判断していく力である。情報の 8 割は、目から得ていると言われており、その情報を脳で理解する力を育てていくことが大切である。「脳で理解する力」を伸ばすことで発達障害の子どもに多いと言われる視覚優位の子が強みとして持ちやすい「ものを見る力」も、より効果的に発揮できるようになると考える。</p> <p>③口や動作でアウトプットする力</p> <p>「口や動作でアウトプットする力」とは、理解したことを自分の言葉や動作によって実際に表現する力である。目で見たことを理解し、それを体の動きにつなげることが、難しい子どもも多い。黒板に書いてあることをノートに書き写すなどの活動がうまく行かず、獲得した情報を理解しているにも関わらず、自分自身が学習に苦手意識を持ったり、周囲からうまく理解されなかったりといったことがある。このような力を伸ばすことで、子どもたちは自信をもって学習に参加でき、自身の得た情報を発信できるようになる。</p> <p>ビジョントレーニングでは特に、発達障害の子どもへの学力や運動能力の向上に有効であるといわれている。そこで、本研究では子どもを対象にした効果検証を行うだけでなく、特別支援の子どものみを対象とした効果検証も行いたい。</p> <p>(2)継続研究 [2 年目] ※継続研究 3 年目の場合は、2 年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>昨年度の研究発表会後のアンケートの結果、通常学級に在籍しながら支援が必要な子ども、つまり「通級指導教室」の対象になるような子どもへのアプローチの一つとして、ビジョントレーニングの必要性や可能性を感じているという声がひじょうに多かった。本校においても、令和 6 年度より「自校通級指導教室」が開設されることもあり、本年度は基本的には昨年度の研究内容を深化充実させるなかで、特に「自校通級指導教室」において、どのようなビジョントレーニングが有効であるかについても焦点を当てて、研究を深めていく。</p> <p>(3)継続研究 [3 年目]</p>			

研究コース
代表校園

A グループ研究A
大阪市立野田小学校

代表校校園コード
校園長名

511001
石崎 厚史

5	活動計画	日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。
		<p>4月 【研究企画会】ビジョントレーニングによる「見る力」について、共通理解を図る。 通級指導教室での活用方法や有効な教材の選定を行う。</p> <p>5月 【校内研修】昨年度の研究成果を教職員と共有するとともに、学級で毎日手軽にビジョントレーニングを行うための方法の提案</p> <p>6月 【研究推進委員会】昨年度も含めて、これまで行ってきたビジョントレーニングの成果についての分析 【テストの実施】「活用」に関わる過去の経年調査の問題を行い、正答率や誤答の分析を行う。</p> <p>7月 【校内研修】講師によるビジョントレーニングの教員研修会の実施 (一般社団法人視覚トレーニング協会代表理事 北出 勝也さん) 教員アンケートを実施する。</p> <p>8月 【研究推進委員会】ビジョントレーニングを活用した教材の選定と系統の整理。 小学校での発達段階に合わせて、①目で見る力の育成、②(見たものを)脳で理解する力③口や動作でアウトプットする力をこれまでの成果をもとに整理してまとめる。</p> <p>9月 【実践研究会①】ビジョントレーニングを活用したビジョントレーニングの実践・検討会①</p> <p>10月 【実践研究会②】ビジョントレーニングを活用したビジョントレーニングの実践・検討会②</p> <p>11月 【実践研究会③】ビジョントレーニングを活用したビジョントレーニングの実践・検討会③</p> <p>12月 【テストの実施】6月に実施した内容と同様の「活用」に関わる過去の経年調査の問題を行い、正答率や誤答の分析を比較とともに行う。</p> <p>1月 【研究発表会及び研修会】参加者へのアンケートの作成・実施・集計・分析 (一般社団法人視覚トレーニング協会代表理事 北出 勝也さん)</p> <p>2月 【アンケートの実施】教員へのアンケート実施・取り組みの成果と課題のまとめ・報告書作成。</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	出張を伴う研究会への参加、外部講師を招聘する研修会の実施等、経費執行が必要な取組を記載してください。
		<p>・【校内研修】講師によるビジョントレーニングの教員研修会の実施 (一般社団法人視覚トレーニング協会代表理事 北出 勝也さん)</p> <p>・【研究発表会及び研修会】参加者へのアンケートの作成・実施・集計・分析 (一般社団法人視覚トレーニング協会代表理事 北出 勝也さん)</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	(1)継続研究(2年目、3年目)において検証方法の変更の有無を記入してください。
		<div><div><input type="checkbox"/> 変更しない。</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 変更する。</div></div> <div>理由 「見る力」の効果を検証する方法について昨年度の反省から見直しをしたため</div>
6	見込まれる成果とその検証方法	(2)大阪市教育振興基本計画に示されている、「 <u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u> 」および、「 <u>教員の資質や指導力の向上</u> 」について見込まれる成果を端的に記載し、その成果について客観的な指標により、必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。(いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください)
		<p>【見込まれる成果1】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>ビジョントレーニングを活用することによって①ものを見る力②脳で理解する力③口や動作でアウトプットする力によって構成される「見る力」が向上し、子どもの総合的な読解力が向上する。</p> <p>＜検証方法＞</p> <p>経年の調査の「活用」に関わる問題(特にいくつかの資料から総合的に考える問題など)を6月と12月に行い、正答率が5ポイント以上昇する。</p> <p>【見込まれる成果2】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>ビジョントレーニングを日常的に続けることによって迅速かつ正確に情報を処理する力を高め、視覚的な能力を強化する。</p> <p>＜検証方法＞</p>

		ビジョントレーニングにおける視覚機能の向上を専門機器（トレーニングギアREACTION）で測定し、反応速度を2秒以上向上させる。
--	--	--

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果3】</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>教員の資質や指導力の向上</p> <p>講師によるビジョントレーニングの研修を実施し、教員のビジョントレーニングに関する理解を深める。</p> <p>《検証方法》</p> <p>研修後のアンケートにおいて「ビジョントレーニングに関する理解が深まった」「ビジョントレーニングを実践するための具体的な手立てがわかった」の二項目において参加者の肯定的評価を90%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果4】</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</p> <p><input type="checkbox"/>教員の資質や指導力の向上</p> <p>《検証方法》</p>						
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和7年2月21日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="352 1070 1477 1144"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 7 年 1 月 17 日</td> <td>場所</td> <td>大阪市立野田小学校</td> </tr> </table> <p>◆waku².com-bee掲載による共有【必須】</p> <p>○掲載の日程（予定）</p> <table border="1" data-bbox="352 1234 978 1308"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 7 年 2 月 20 日</td> </tr> </table> <p>◆他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 7 年 1 月 17 日	場所	大阪市立野田小学校	日程	令和 7 年 2 月 20 日
日程	令和 7 年 1 月 17 日	場所	大阪市立野田小学校					
日程	令和 7 年 2 月 20 日							
8	代表校園長のコメント	<p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>本研究を進めることによって、令和7年度末までに3年生以上で週1時間実施とされている「総合読解力育成の時間」の在り方の1つとして、ビジョントレーニングは、大きなヒントとなる可能性があると考えている。</p> <p>また、本校は来年度より「自校通級学級」の開設が決まっている。通常学級に在籍しているが、発達障がいのため、本人にあった特別な指導が別途必要としている子どもにどのような支援をしていくかが喫緊の課題であり、その点からもビジョントレーニングの研究は大きな示唆が得られると考えている。</p> <p>2. 継続研究（2年目） ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>昨年度の研究を通して、令和6年度より本校で開設する「自校通級教室」の指導について、試行的に実践を重ねてきた結果、昨年度の選定番号114の「ボードゲーム」には、ビジョントレーニングの要素が含まれたゲームも数多くあり、双方とも「自校通級学級」の指導に光明が見いだすことができた。ボードゲームの研究と併せて、さらに「自校通級教室」の指導におけるビジョントレーニングの有効性を検証していきたい。また、昨年度の研究発表において、他校から70名もの参会者があったことから、その反響は大きく、今後の本市教育推進において、ビジョントレーニングが1つの大きなツールになる可能性を秘めていると言える。この分野の第一人者である北出先生とのつながりを作れたことも大きく、本校における研究をさらに深め、本市の多くの学校にビジョントレーニングの効果を広めることができるようにしていきたい。</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p>						

--	--	--